

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番
99.12.24 No.5068

貨物来年3月ダイ改を提案、列車の速達化めざす 関東支社大規模な合理化、頼新小岩△3千葉機△1

貨物会社本社は、十二月一日「二〇〇〇年三月ダイ改」を三月十一日(土曜)に行うことを明らかにし、その概要を提案した。要員等労働条件の細部は各支社から別途提案される。

貨物会社は分割民営化の破綻と物流競争の激化に存亡の危機に立たされるなかで、新フレイト211貨物六千人体制合理化に一切をかけている。労働者への犠牲の転嫁を許さず、闘いに立ちあがろう。

概要提案の骨子は次の通り。
一、基本的考え方

物流構造の変化やニーズの高度化に対応した鉄道輸送サービスの再構築を目指して、現在の輸送力規模を維持することとし、さらに列車ダイヤの見直しと新型電気機関車の投入により、コンテナ列車を中心に列車の速達化を図るなど、より利用しやすい貨物輸送の実現を図る。

二、輸送サービスの再構築
(1)コンテナ輸送

①コンテナ列車の速達化(67本)
・けん引定数、基準運転時分、余裕時分、停車時分等の見直しによる列車の速達化
(例) 東京夕々梅田間六時間三十分

・EH五〇〇形式交直流電気機関車の投入による速達化
(例) 東京夕々札幌夕間一時間四十分短縮、等。

②列車の増発
③低積載列車の統合等

④土休ダイヤの拡大
曜日運休を拡大し、運休仕事を有効活用することにより乗務員の効率化に資する。

⑤プロジェクト関連の輸送計画
・小名木川駅発着列車の見直し
・小名木川発着の幹線系列車を隅田川・越谷夕へ振替える。
・京葉線開業に伴う輸送計画の検討

・京葉臨海鉄道など関係者による「京葉線乗入れ営業戦略検討部会」を設立し、細部にわたって検討を開始する。

(2)車扱輸送
①トレインアワーの短縮(九七本)
・けん引定数、余裕時分、停車時分等の見直しによる輸送時間の短縮

(例) 蘇我々郡山間五五分短縮
・貨車運用効率の向上

②石油列車の長編成化
二三四両(一三八〇けん引)

③物資別列車の発着駅変更
顧客企業の物流ルート変更に対応して発着駅を変更する。

④低積載列車の統合、臨貨化等
⑤土休ダイヤの拡大
⑥貨車の老朽化に伴う輸送計画の見直し

三、列車計画(別表参照)
四、機関車・貨車等の新製

(1)機関車の新製
EH五〇〇(五両)：東北線
・津軽海峡線の直通運用用
EF二一〇(二両)：高崎線
一三八〇けん引用

DF二〇〇(三両)：函館線
・室蘭線・千歳線・石勝線用
(2)コンテナ車
(3)コンテナの新製
五、駅設備等の改良・整備
六、業務の効率化
七、ダイ改期日
二〇〇〇年三月十一日(土)

このように、三月ダイ改は新製機関車の投入等により列車の高速化、長編成化が一層図られた内容となっている。

別表(3. 列車計画)

(単位 千両・本)

	1997.3 「改正」	98.10 「改正」 A	1999.4 緊急業務改善 B	2000.3 「改正」 C	新フル計画 21計画	
					C-A	C-B
設定 千両	198.8 51.8 250.6	195.6 43.1 238.7	190.4 40.7 231.1	190.9 39.8 230.7	Δ4.7 Δ3.3 Δ8.0	+0.5 Δ0.9 Δ0.4
列車 本数	424 418 842	419 344 763	422 322 744	421 317 738	+2 Δ27 Δ25	Δ1 Δ5 Δ6

速報 (十二月二十二日) 関東支社も三月 ダイ改を提案

貨物関東支社は、十二月二三日三月ダイ改を提案した。内容は、千葉地区では、仕業の見直しにより新小岩派出所で乗務員△3、千葉機関区で乗務員△1とされている。またEH五〇〇形式の3両の投入やEF二一〇形式による一三八〇トン列車の運転、列車の速達化などによる仕業の見直しにより各所で乗務員・検修等で△五八名の合理化が出されている。

また小山総合鉄道部の四月一日廃止が出された。

駅関係では、田端操駅の入換え業務の臨海鉄道への業務委託など、新小岩操駅の業務委託に引き続き駅業務の業務委託の拡大が提案され、あわせて△五三名もの大幅な合理化となっている。これは東京夕、隅田川といった大規模駅以外はすべて業務委託に切り替えようとするものであり、検修関係につづいて駅業務も全面的な委託に踏み切ったものといえる。

貨物会社が六千人体制を進めるとき、焦点は乗務員に移った。動乗改悪阻止、貨物六千人体制粉碎、賃金抑制攻撃打破、日貨労働体へ、団結をうち固めて闘いに立ちあがろう。